

講義名	経営情報システム論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

### 主題と概要

経営情報にICTを活用するのは現在では当然のことのように行われています。企業がコスト削減などの効率化やより早く優れた製品・サービスを開発するためには、経営情報の処理のためにICTを利用することが不可欠になってきているからです。授業では、ICTの活用事例を多く紹介し、個々の企業に適した経営情報システムとはどのようなものか、将来に自らの職場で発見できる見識を養成します。

### 到達目標

組織運営における問題について、情報システムによる改善提案ができる。

### 提出課題

授業の理解を深めるために、授業内容について自分なりの解釈を提出課題とします。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題の解説を行います。

### 評価の基準

提出課題の内容を総合的に評価します。提出課題の不提出は即不合格になります。

### 履修にあたっての注意・助言他

良い成績を修めるには、RYUKA Portalでの配布資料のほかに、ノートを書くことが必要です。配布資料上にノートを書くためにタブレットPCなどを活用するのはよいことです。

教科書	.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

講義内容は事前にRYUKA Portalの講義配布資料に保存して学生と共有します。以下の雑誌、ホームページを参考文献とします。  
 ① 作野社 月刊「IT・ネット・ビジネス」誌  
 アジテック社 アジテック誌  
 CNET Networks社 CNET newsサイト <http://news.cnet.com/>  
 日経BP社 クロステックサイト <https://tech.nikkeibp.co.jp/>

### 授業計画

- 1 はじめに（授業のねらい説明など）
- 2 業務と情報システム
- 3 業務の効率化に寄与するICT
- 4 業務の高度化に寄与するICT
- 5 新しい業務を創りだしたICT
- 6 組織における情報システムのインフラストラクチャー
- 7 情報通信ネットワーク
- 8 企業間情報システムの発展
- 9 企業間情報システムの標準化
- 10 日本政府の経営情報システムに対する取り組み
- 11 法律と経営情報システム
- 12 企業における情報システムのセキュリティ
- 13 国内の経営情報システム構築の歴史
- 14 国内の経営情報システムの進化
- 15 まとめ

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業で使う資料は、RYUKA Portalの「講義のお知らせ」にて事前に配布しますので、予習・復習に利用してください。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

### 備考